

令和7年度 芽室町議会モニター制度 総括報告書



令和7年度の芽室町議会モニターの活動は、5月、11月、令和8年2月の全3回の議員との意見交換の場を持ちながら活動しました。

第1回目では、「日々の暮らしで気になること」をテーマにSOUNDカードを用いて意見交換を実施。第2回目では、両常任委員会が掲げた抽出事業（政策課題）の取組みと議員定数と報酬について意見交換を行いました。第3回目は、新たな取り組みとなる「議員の学校」についてご意見をいただくとともに、議会モニター活動を振り返っていただきました。意見交換を通じて、町政・まちづくりに関するものから、議会運営に関することまで多岐に渡り、ご意見をいただきました。

芽室町議会では、いただいたご意見やご提案をしっかりと議論し、より進化した議会モニター制度の運用を進めていきます。

令和7年4月

令和7年度 議会モニター活動

議会モニター会議（議員との意見交換会）

	第1回	第2回	第3回
月 日	R7.5.23（金）	R7.11.6（木）	R7.2.18（水）
時 間	18:30～20:00	18:30～20:15	18:30～20:00
場 所	役場3階	役場3階	役場3階
参加者	12名 （うちオンライン1名）	11名 （うちオンライン1名）	14名 （うちオンライン1名）
テーマ	・日々の暮らしで気になること	・常任委員会の抽出事業 ・議員定数と報酬	・議員の学校 ・モニター活動を振り返って
その他	議会モニター委嘱状 交付式・説明会		

令和7年度芽室町議会モニタ一名簿

(五十音順：敬称略)

NO	氏 名	住 所(行政区)	備 考
1	甲斐由美子	(上芽室)	
2	工藤 祐哉	(新得町)	新 (町内勤務)
3	小林 優斗	(青葉東)	
4	桜井 守	(新 生)	新
5	高野 竜二	(報 徳)	新
6	立花 大希	(錦 町)	
7	野澤 一盛	(旭 町)	
8	尾藤 光一	(上関山)	新
9	平岡 早苗	(愛生町)	
10	深井 潤	(麻生町)	
11	福中 夏生	(西園町)	
12	保志 元輝	(青葉西)	
13	三上ますみ	(美 生)	
14	山路 康	(東めむろ第1)	新
15	山吹しずえ	(南が丘)	新
16	山本 采里	(清水町)	新 (芽室高校3年生)
17	山本 睦人	(五条町)	
18	横山 泰平	(上美生)	
19	吉田 和樹	(美 園)	新
20	類家 裕介	(弥生中央町)	新

任 期：令和7年4月1日～令和8年3月31日

第1回モニター会議の総括案について

1 事業実績

- (1) 日 時 令和7年5月23日(金曜)18時30分~20分
- (2) 場 所 役場3階委員会室
- (3) 手 法 参集/オンライン
- (4) 出席者 モニター12名(うちオンライン1名) / 議員15名
- (5) 議論テーマ
「モニターの皆さんが日々の暮らしで気になること(フリートーク)」
- (6) 会議手順
 - ・ 委嘱状交付
 - ・ SOUNDCARD を活用し4グループに分かれてのグループワーク

2 事業総括

- (1) 成 果 目的は概ね達成

議会モニターが対話しやすい場とするために、SOUNDCARD を活用した。カードを活用することにより、参加者からの意見・要望・提言を広く聴取することにつながった。

- (2) 課 題

- ① 会議で出された意見を議会として、どのように整理するかを検討
- ② 欠席モニターに対する丁寧な意見聴取方法の検討

3 その他(別紙参照)

- (1) 所管委員会ごとのまとめ
- (2) グループごとの記録
- (3) 意見取扱フロー
- (4) 議会モニターアンケート(出席者)
- (5) 議会モニターアンケート(欠席者)
- (6) 議員アンケート

<所管委員会ごとのまとめ>

総務経済常任委員会

情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・(店) 物件のことを役場窓口にも聞いても情報がわからない ・ホームページのリンクの仕方について、まだ工夫が必要。 ・情報は深いところまで探さないとわからないし、見つけれない。今は情報の過渡期で変わるのにまだ10年かかる。 ・発信が出来ていないわけじゃなく、届いていないだけ。知っていれば良かったこともあったし、もったいない。紙配布について新ルールが必要。職員も町民も上下なく、やさしくわかり合い、議論が必要。 ・(受けて側の) 多種多様な情報発信が必要。
町内会	<ul style="list-style-type: none"> ・もっと若者目線の意見を聞いてほしい。 ・ゴミ出しルールの周知が必要。最低限、情報共有のためにも若い人に入ってほしい。
交通安全	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもは自転車に乗る際ヘルメットをし、横断歩道を歩いて偉いが、大人は車を止めないのが困る。 ・通学路、見ていて危ない車が走っている。 ・(貯水場近く) 交差点で車が飛ばして危ないが、交通指導員がいなくなった。 ・街中だからか、危ないと思ったことはない。 ・道道で歩道から落ちたら危険な所がある。自転車の指導は充分か。車道を逆走している子もいる。
芽室公園再整備	<ul style="list-style-type: none"> ・議会は静観しているように見える。嵐山再生と同時にやっていけるのか、どうしていくのか。
ごみ	<ul style="list-style-type: none"> ・車から捨てる人がいる。(日甜裏街道) ・ごみがあちこち落ちてると心がすさむ。問題点を改善できる町であつたらいい。 ・車の中をきれいにするため外にごみを捨てる。ごみが散乱すればさらに捨てる人が出る。捨てづらくなるよう何か工夫が必要。(赤い神社など)
住民参加	<ul style="list-style-type: none"> ・意見を言い合える、活発な場があるといい。
DX	<ul style="list-style-type: none"> ・ついていけない人達がいる。わかるまでが大変。
農業	<ul style="list-style-type: none"> ・有機農業を進める、広める ・メムロピーナッツ等、有機肥料で栽培すると良い。 <p>芽室町で作っているものと言える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私は実はアトピー、花粉症、アレルギー持ち。有機を作った製品を使うと体に良いと感じている。
多様性の尊重	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育の現場でも少数派の考えが生かされにくい現状がある。
経済対策	<ul style="list-style-type: none"> ・物価高騰。収入が上がっても実質の減収。
シビックプライド	<ul style="list-style-type: none"> ・我が子に楽しい思い出づくりと素敵な体験をしてほしい。そして芽室に戻りたいという気持ちを育てたい。
物価高騰	<ul style="list-style-type: none"> ・お米やガソリンなど
地域住民の高齢化	<ul style="list-style-type: none"> ・免許証返納者が増えている
自治体名に十勝がつく	<ul style="list-style-type: none"> ・清水町の話。実際どうなのか？全市町村で足並みを揃えると良いのでは
公共交通	<ul style="list-style-type: none"> ・免許のない方、何もできない。マイクロバスなどを役場で月1回くらい出してほしい。
除雪	<ul style="list-style-type: none"> ・冬用に備えるチャンスと思う

厚生文教常任委員会

子育て	<ul style="list-style-type: none"> ・情報発信していると思うが、受け手には探さないが届かない ・障がいの子の制度について、人から聞いて知った。情報が届けば窓口対応も減ると思う。
窓口対応	<ul style="list-style-type: none"> ・町民も職員も同じ立場でコミュニケーションをとり、寄り添った中で感謝の言葉を口にしたい。
子どもの参加	<ul style="list-style-type: none"> ・高校の学祭をもっと盛り上げたい。高校の学祭に憧れて進学したがコロナ以降縮小されてしまい生徒による模擬店の許可が出ない。行燈行列も校庭のみとなり寂しい。生徒会が学校に交渉してみたが許可されなかった。
子どもの居場所	<ul style="list-style-type: none"> ・こども（高校生）にとって楽しい地元であれば、大人になっても帰ってきたくなる。高校生が行きやすいカフェや溜まり場が欲しい
中学校の制服やジャージ	<ul style="list-style-type: none"> ・制服の着る頻度が少ないのに価格は高く負担が大きい
HPV ワクチン	<ul style="list-style-type: none"> ・男子への補助がないこと

総務経済・厚生文教常任委員会にまたがるもの

まちなか再生・子どもの参加	<ul style="list-style-type: none"> ・出身は埼玉県で大きな街で育つ。芽室の駅前のシャッターが閉まっているのが寂しく「自分が何かできないだろうか？」という気持ちを持てるのは、芽室のサイズ感が自分ごととして町の課題を考えられるのにちょうど良いのだと思う。とはいえ、子どもたちに楽しい思い出を作ってあげたいので何か楽しいことができたらと考えている。
少子化対策・移住定住策	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少と高齢化！人口が増えないと学校の存続やインフラ整備の面でも将来大変。
子どもの参加・まちなか再生	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生が遊べる場所が芽室にほしい。みんな帯広に遊びに行っている（カラオケなど）
子どもの参加 まちなか再生 都市計画	<ul style="list-style-type: none"> ・（高校生の思いを聞いて）ぜひ一緒に頑張りましょう！まちなかのシャッターを開けることに協力したい（不動産業としても）。→高校の新聞局でも芽室のまちなかのことを取材して魅力発信してみる（高校生から） ・まちなかの空き物件を取り扱うこともあるが、商店ではなく一般住宅として利用されてしまうとまちなかの賑わいをつくるのが難しくなる。もし町が何かしらの規制などを設けられるなら計画的な再整備ができると思う。

議会運営委員会

議会広報	<ul style="list-style-type: none"> ・紙の発行は良いが、SNSは意味がないし、現状のままならやめたらいい。
------	---

<グループごとの記録>

議会モニター会議 Aグループ

■出席議員： 木村・正村・西尾・中田

■参加者： 野澤さん、尾藤さん・山路さん・山吹さん

■記録者名： 中田 敬称略

所管	カテゴリ	意見交換内容
厚生	子育て	<ul style="list-style-type: none"> ・情報発信していると思うが、受け手には探さないと届かない ・障がいの子の制度について、人から聞いて知った。情報が届けば窓口対応も減ると思う。
	窓口対応	<ul style="list-style-type: none"> ・町民も職員も同じ立場でコミュニケーションをとり、寄り添った中で感謝の言葉を口にしたい。
総務	情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・(店) 物件のことを役場窓口聞いても情報がわからない ・ホームページのリンクの仕方について、まだ工夫が必要。 ・情報は深いところまで探さないとわからないし、見つけれない。今は情報の過渡期で変わるのにまだ10年かかる。 ・発信が出来ていないわけじゃなく、届いていないだけ。知っていれば良かったこともあったし、もったいない。紙配布について新ルールが必要。職員も町民も上下なく、やさしくわかり合い、議論が必要。 ・(受けて側の) 多種多様な情報発信が必要。
	町内会	<ul style="list-style-type: none"> ・もっと若者目線の意見を聞いてほしい。 ・ゴミ出しルールの周知が必要。最低限、情報共有のためにも若い人に入ってほしい。
	交通安全	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもは自転車に乗る際ヘルメットをし、横断歩道を歩いて偉いが、大人は車を止めないのが困る。 ・通学路、見ていて危ない車が走っている。 ・(貯水場近く) 交差点で車が飛ばして危ないが、交通指導員がいなくなった。 ・街中だからか、危ないと思ったことはない。 ・道道で歩道から落ちたら危険な所がある。自転車の指導は充分か。車道を逆走している子もいる。
	芽室公園再整備	<ul style="list-style-type: none"> ・議会は静観しているように見える。嵐山再生と同時にやっていけるのか、どうしていくのか。
	ごみ	<ul style="list-style-type: none"> ・車から捨てる人がいる。(日甜裏街道) ・ごみがあちこち落ちていると心がすさむ。問題点を改善できる町であつたらいい。 ・車の中をきれいにするため外にごみを捨てる。ごみが散乱すればさらに捨てる人が出る。捨てづらくなるよう何か工夫が必要。(赤い神社など)
	住民参加	<ul style="list-style-type: none"> ・意見を言い合える、活発な場があるといい。
	DX	<ul style="list-style-type: none"> ・ついていけない人達がいる。わかるまでが大変。
議運	議会広報	<ul style="list-style-type: none"> ・紙の発行は良いが、SNSは意味がないし、現状のままならやめたらいい。

その他		<ul style="list-style-type: none"> ・人口の3割が高齢者で主力構成になる。80、90歳になってもお世話にならず、町づくりに発言し関わっていきたい。モニター会議に参加し非常に勉強になる。 ・店内でのネガティブな業者の発言。客に聞かれないよう寄り添った接客をしてほしい。 ・何を選択する町にしていくのか。 ・様々な問題は伸びしろになる。足を引っ張ることなく、頑張ると応援してほしい。(事業者)
-----	--	---

議会モニター会議 Bグループ

■出席議員： 堀切、早苗、鈴木、橋本

■参加者： 甲斐さん、櫻井さん、山本さん

■記録者名： 堀切 敬称略

所管	カテゴリ	意見交換内容
総務	農業	<ul style="list-style-type: none"> ・有機農業を進める、広める ・メムロピーナッツ等、有機肥料で栽培すると良い。芽室町で作っているものと言える。 ・私は実はアトピー、花粉症、アレルギー持ち。有機を作った製品を使うと体に良いと感じている。
	公共交通	<ul style="list-style-type: none"> ・免許のない方、何もできない。マイクロバスなどを役場で月1回くらい出してほしい。
	除雪	<ul style="list-style-type: none"> ・冬用に備えるチャンスと思う
その他		<ul style="list-style-type: none"> ・特許の話。川湯温泉の水の話。

議会モニター会議 Cグループ

■出席議員： 立川・中村・伊藤

■参加者： 吉田さん・深井さん・山本さん

■記録者名： 立川 敬称略

所管	問い	カテゴリ	意見交換内容
厚生	<u>みんなが諦めてしまっていること</u>	子どもの参加	高校の学祭をもっと盛り上げたい。高校の学祭に憧れて進学したがコロナ以降縮小されてしまい生徒による模擬店の許可が出ない。行燈行列も校庭のみとなり寂しい。生徒会が学校に交渉してみたが許可されなかった。
		子どもの居場所	こども（高校生）にとって楽しい地元であれば、大人になっても帰ってきたくなる。高校生が行きやすいカフェや溜まり場が欲しい
総務	<u>気掛かりに感じていること</u>	多様性の尊重	特別支援教育の現場でも少数派の考えが生かされにくい現状がある。

	<u>ここ数年、数ヶ月で悪化していること</u>	経済対策	物価高騰。収入が上がっても実質の減収。
		シビックプライド	我が子に楽しい思い出づくりと素敵な体験をしてほしい。そして芽室に戻りたいという気持ちを育てたい。
総務・厚生	<u>常々思っていること</u>	まちなか再生・子どもの参加	出身は埼玉県で大きな街で育つ。芽室の駅前のシャッターが閉まっているのが寂しく「自分が何かできないだろうか？」という気持ちを持てるのは、芽室のサイズ感が自分ごととして町の課題を考えられるのにちょうど良いのだと思う。とはいえ、子どもたちに楽しい思い出を作ってあげたいので何か楽しいことができたらと考えている。
	<u>長年に渡り解決していないこと</u>	少子化対策・移住定住策	人口減少と高齢化！人口が増えないと学校の存続やインフラ整備の面でも将来大変。
	<u>今こそチャンスと思うこと</u>	子どもの参加・まちなか再生	高校生が遊べる場所が芽室にほしい。みんな帯広に遊びに行っている（カラオケなど）
	「芽室のまちなかを元気にするには？子どもも楽しめるまちなかになるためには？」	子どもの参加 まちなか再生 都市計画	（高校生の思いを聞いて）ぜひ一緒に頑張りましょう！まちなかのシャッターを開けることに協力したい（不動産業としても）。→高校の新聞局でも芽室のまちなかのことを取材して魅力発信してみる（高校生から） まちなかの空き物件を取り扱うこともあるが、商店ではなく一般住宅として利用されてしまうとまちなかの賑わいをつくるのが難しくなる。もし町が何かしらの規制などを設けられるなら計画的な再整備ができると思う。

議会モニター会議 Dグループ

■出席議員：常通、菊池

■参加者：横山さん（リアル）、福中さん（オンライン）

■記録者名：常通 敬称略

所管	カテゴリ	意見交換内容
厚生	中学校の制服やジャージ	制服の着る頻度が少ないのに価格は高く負担が大きい
	HPV ワクチン	男子への補助がないこと
総務	物価高騰	お米やガソリンなど
	地域住民の高齢化	免許証返納者が増えている

	自治体名に十勝 がつく	清水町の話。実際どうなのか？ 全市町村で足並みを揃えると良いのでは
--	----------------	--------------------------------------

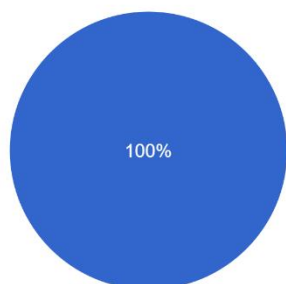
令和7年度 第1回議会モニター会議 アンケート結果

(議会モニター出席者12名中：回答11名)

令和7年6月2日集計

1. 開催した日時はいかがでしたか？

11件の回答

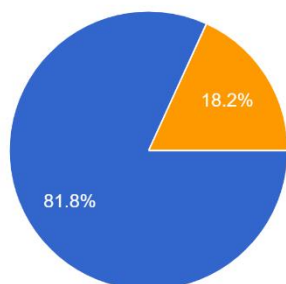


● ① 概ねよい
● ② 改善が必要

①概ねよい	11
②改善が必要	0

2. 開催時間（1時間半）についてはいかがでしたか？

11件の回答

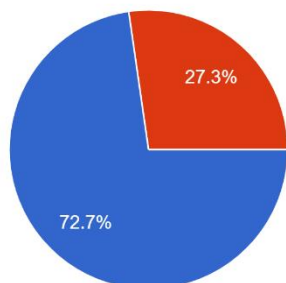


● ① ちょうどよい
● ② 長い
● ③ 短い

①ちょうどよい	9
②長い	0
③短い	2

3. 当日の運営について（方法、内容、進行など）いかがでしたか？

11件の回答



● ① 概ねよかった
● ② 改善が必要

①概ねよかった	8
②改善が必要	3

3で②と回答された方は具体的に記載願います。(3件の回答)

・意見を出しやすいように雰囲気づくりなどをしてくださり、終始いい雰囲気だったなと思います。ありがとうございます。あえて意見を出すとしたらですが、前回からそうですが、出した意見などが結局何に反映されるのか、何のためにやっているのかがよくわからないです。「やったほうがいいしやってる」ように見えてしまいました。

今回は「暮らしの気づきの意見」をとということで意見を出しましたが、意見を出してどういう風に実現しようかを考えよう、議論しようみたいなことではないんだなと感じました。

・今回、オンラインとの班でしたので通常通りのグループワークでしたが、他の班がサウンドカードを使用してどのような話をしていたか気になりましたので少しの時間でいいので発表があればよかったかなと思います。

・グループワークの内容が分かりにくいし、まとめにくい。情報共有して全体発表まで持って行くのは困難である。

4. 全体を通して何かありましたらご自由に記載願います。

・①初回は顔合わせ的で具体的な論議は難しい。②モニターの町議会の理解度にバラツキがあると思われる。町政のどの部門に関心があるのかアンケートを取るべきである。

③町議会を傍聴する機会を設けてほしい。

・議会モニターが「町民が感じている暮らしの改善点を吸い上げたり、議論する場」なのか「議会活動に対して町民が意見/チェックをするのか」など、もう少し方向性をはっきりさせていったほうが良いなと思います。各回でテーマは異なっているかなと思いますが。例えば、前回こういう意見が出て、それに対してこういうことを議員としてしましたよ、みたいなフィードバックが次回の議会モニターの時にあったりしたら、こういう場での意見を勇気出して発言したら、前に進むかもしれないんだ、って思えるようなことがあればいいなと思います。(目的と合っているかわかりませんが)

・会議は昼間がいいかと思う

・いつもは、全体に戻ってから個別のグループの発表がありましたが、今回はそれがありませんでした。ほかのグループの話題も知りたかったなと思いました。議員のお2人が、積極的に話題を振ってくださったのでオンライン参加でも色々と話ができてありがたかったです。

・発言しやすい雰囲気で楽しい時間となりました。ありがとうございました。

・カードを使って、トークテーマを決めることができ、話しやすかったです。

また、幅広い世代の方々がグループにいることも良かったです。

令和7年度 第1回議会モニター会議 アンケート結果

(議会モニター欠席者8名中：回答3名)

令和7年6月2日集計

1. あなたが日々の暮らしの中で関心のあること、気になっていることをなんですか？ 何項目でも自由にご記載ください（具体的な理由なども書いていただけると今後の調査に 活用することができます）。3 件の回答

・日々の暮らしの中での自治体格差 ごみ処理費用等日々の生活に直結することで自治体によって違いがあるのは違う気がします。

・①物価高（お米もそうですが、何から何まで値段が上がっており、その反面給料や補償は増えないから）②スポーツ（明るく元気になれるから）

・町内会の構成する人たちの減少に伴う、地域社会のインフラの維持が今後どうなるかについてが気になってます。ここで考える地域社会のインフラは、ゴミステーションの管理、回覧板などによる地域の情報の共有、地域の方々のつながり、美化活動、最後に私の地区では神社の支援・管理の活動も含まれます。上記のインフラは、多くは人の力とお金がないと管理ができない問題であり、これが共に損なわれている状態で、今後これらのインフラがどう維持されていくのかが気になってます。特に私たちの地区で問題になるのは、ゴミと神社の問題です。ゴミについて、今までは、地域の方々にゴミを管理していたものがそれがなくなってしまった地域ではどのように今後ゴミを管理されていくのか、また現状町内会に入っていない方もゴミステーションにゴミを捨てていることに対してどのように対応していくのかが気になってます。私としては、町内会がない区域や、町内会に入っていない方もゴミの管理費だけは納める必要があると考えております。神社について、以前神社は地域の心の拠り所であり、イベント、祭礼などの様々な役割で地域に貢献してましたが、現在は信仰心の低下と、神社に興味のない世代の増加、他の宗教の問題もあり、神社を町内会で支えることに対しての意義が問われています。このような状況で私の町内会では町内会費の10パーセント程度を拠出しており、ごく一部の方で毎回町内会が神社を支援する是非を問う声があります。このような状況の中で、神社と私たちはどう関わっていけば良いのか、皆さんの意見が聞きたいです。

2. 議会モニターに関することをご自由に記載願います。1 件の回答

・議会モニターについては、議員や地域の方々と意見を交換する稀有な機会と考えており、とても興味があります。

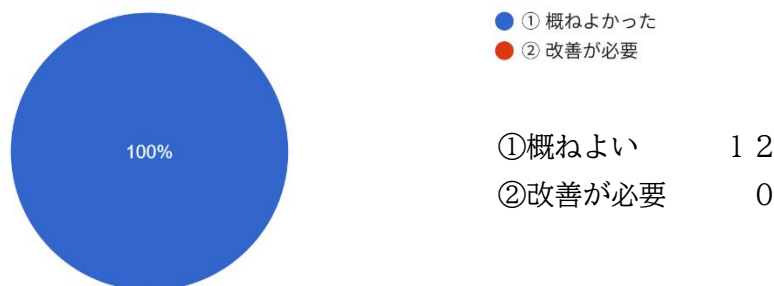
令和7年度 第1回議会モニター会議 アンケート結果

(議員15名中：回答12名)

令和7年6月2日集計

1. 当日の運営について（方法、内容、進行など）

12件の回答



2. 全体を通して何かありましたらご自由に記載願います。

- ・初めての会議、サウンドカードで和やかに意見が出た。モニター全員の紹介はないので、毎回グループメンバーがばらけるように配慮を進めれば良い。
- ・町の執行側の役割に対して議会のチェック機能、対案ありきでは無いこと、事前レクチャーが必要と感じました。
- ・グループの発表はあったほうが良いのかなと思いました。
- ・当日の欠席者が多いのが残念です。
- ・高校生のモニターさんの意見に、他のモニターさんも応援する意見を述べたりと有意義な時間を過ごす事ができました。少子化問題、そして子ども達、若い世代が楽しく過ごせる場所づくりなど、モニター会議での意見を大切にしていかなければと痛感しています。
- ・出された意見をどのように扱っていくのか、扱われたのか、議会モニターに対するフィードバックをしっかりとしなければ、単に意見を出す場を作っただけになってしまい、不満につながると思う。
- ・モニター会議出席者が12名という状況について、出席しやすい日時設定、環境整備が必要と感じた。
- ・第1回会議はSOUNDカードを使用してのグループワーク、雰囲気的にも良好だったと思います。今回いただいた意見の取り扱いと第二回会議に向けたテーマの設定が大切です。リアル会場の雰囲気が分かりませんが、個人的にオンライングループだったので最後に各グループの発表があるとオンラインで参加された方も良かったのと感じた。テーマにもよると思うが2時間位の会議でも良いと感じる。まだまだ話足りないと感じたから。

・全体的には良い進行だったと思います。グループ内の進行で気づいてことなどがあれば共有して次回に活かせたらと思います。

令和7年度第2回モニター会議の総括について

1 事業実績

- (1) 日 時 11月6日(金曜) 18時30分～20時15分
- (2) 場 所 役場3階委員会室
- (3) 手 法 参集/オンライン
- (4) 出席者 モニター11名(うちオンライン1名) / 議員15名
- (5) 議論テーマ:

- ① 常任委員会抽出事業

- ・ 総務経済常任委員会

「まちなか再生推進事業」「協働のまちづくり活動支援事業」

- ・ 厚生文教常任委員会

「地域に必要とされる医療提供体制と持続可能な公立芽室病院の経営強化策」

- ② 議員定数と報酬について

・ 内 容 2グループに分かれてグループワーク

2 事業総括

(1) 成 果：概ね達成したが、内容については改善が必要

各常任委員会におけるそれぞれの抽出事業について、資料に基づき報告と説明をし、その後、2グループに分かれてグループワークを実施した。(当日欠席されることも想定しながらのグループ編成とした)議会モニターのみなさんが対話しやすい場とするために、レイアウト等に工夫をこらし、参加者からの意見・要望・提言を広く聴取することにつながった。一方で、議論する時間が足りなかったとの意見もあり、今後の課題として改善していく必要がある。

(2) 課 題

- ① いただいた意見を各常任委員会であらためて整理し、今後の調査や議論に活用していく。
- ② 常任委員会からの説明の際に手元に資料がないため、急きょ進捗工程表を印刷して配布した。わかりやすい資料と説明の準備が必要と考える。
- ③ 欠席された議会モニターからのアンケート回答がなかった。今後より丁寧な意見聴取についての検討が必要。

3 参考資料

- (1) グループ記録
- (2) 意見取扱フロー
- (3) 議会モニターアンケート(出席者)
- (4) 議員アンケート

参考資料

(1) グループ記録

Aグループ

■出席議員 : 木村、常通、正村、早苗、橋本

■参加者 : 甲斐さん、工藤さん、尾藤さん、平岡さん、深井さん (5名)

カテゴリ	テーマ	意見交換内容
総務経済 常任委員 会 抽出事業	まちなか再生 事業	<p>・本町でもパーク PFI が進んでいるが、町民と事業者との関係性構築が事業推進には重要だと視察報告を聞いて思った。</p> <p>・「まちなか再生」と言われているが、空き店舗は依然として残っており、どのような姿を目指して再生を進めているのか、その具体的なイメージが見えにくい。</p> <p>→ (回答) : 新しい店舗の出店も見られるものの、既存店舗は老朽化が進み、店舗と住宅が一体となっているケースも多い。そのため、店舗を閉めても住宅として居住が続く状況にあり、土地利用の更新が進みにくい。こうした状況を抜本的に変えるには、土地区画整理事業の実施が効果的と考えられるが、町としては現時点で実施の考えを持っていない。</p> <p>・福祉事業者が参入しやすいように空き店舗情報をわかりやすく発信してほしい。</p> <p>→ (回答) : まちなかのにぎわいを創出するためには、経済効果を目的とした店舗の誘致だけでなく、福祉事業所など多様な機能が入ることで、新たな人の流れが生まれる可能性がある。</p> <p>・まちなかの店舗の老朽化が進む中、現在の中心市街地にこだわらず、場所を移して新たにまちを形成する発想がなければ、にぎわいの再生は難しい</p> <p>→ (回答) : 帯広市と芽室町の境界は都市計画上で明確に区分されており、芽室町は帯広市と住宅地や商業施設が連続するようなまちづくりの計画になっていない。</p>
	協働のまちづくり支援事業	<p>・地域とのつながりを持ちたいとの思いから、法人として町内会への加入を申し込んだが、前例がないことを理由に受け入れられなかった。</p> <p>・移住者であるため、地域住民同士の関係性を十分に理解することが難しく、地域の人々と直接会う機会も多くない。</p> <p>・町内会加入者が少なく、役員のなり手にも苦労している。いずれ町内会も限界にくるのではないかと思っている。</p> <p>・コミュニティの必要性が理解できない。</p> <p>→ (回答) : ひとりでは解決できない課題を地域全体で解決することによって、自分たちの暮らす地域をより住みやす</p>

		くしていくことが、コミュニティの基本的な考え方である。習志野市の地域担当職員制度は、こうした自治活動をまちづくりの仕組みとして位置づけ、行政が制度的に支えている点特徴的であり、成果を上げている好事例であった。
厚生文教 常任委員 会 抽出事業	公立芽室病院	<ul style="list-style-type: none"> ・リハビリ事業を実施しているが、町民のニーズを十分に把握しているのか疑問がある。院内でのリハビリを重視するのか、訪問リハビリの充実を目指すのか、目的や方向性が明確でない。 ・待ち時間が長いのではないかと、公立病院に行ったことがない。 ・総合病院であるため、帯広まで出向かなくても医療を受けられ、利便性が高い。

B グループ

- 出席議員 : 立川、西尾、中村、堀切、小笠原、伊藤
- 参加者 : 福中さん (オンライン)、保志さん、山本さん、横山さん、吉田さん、類家さん (6名)

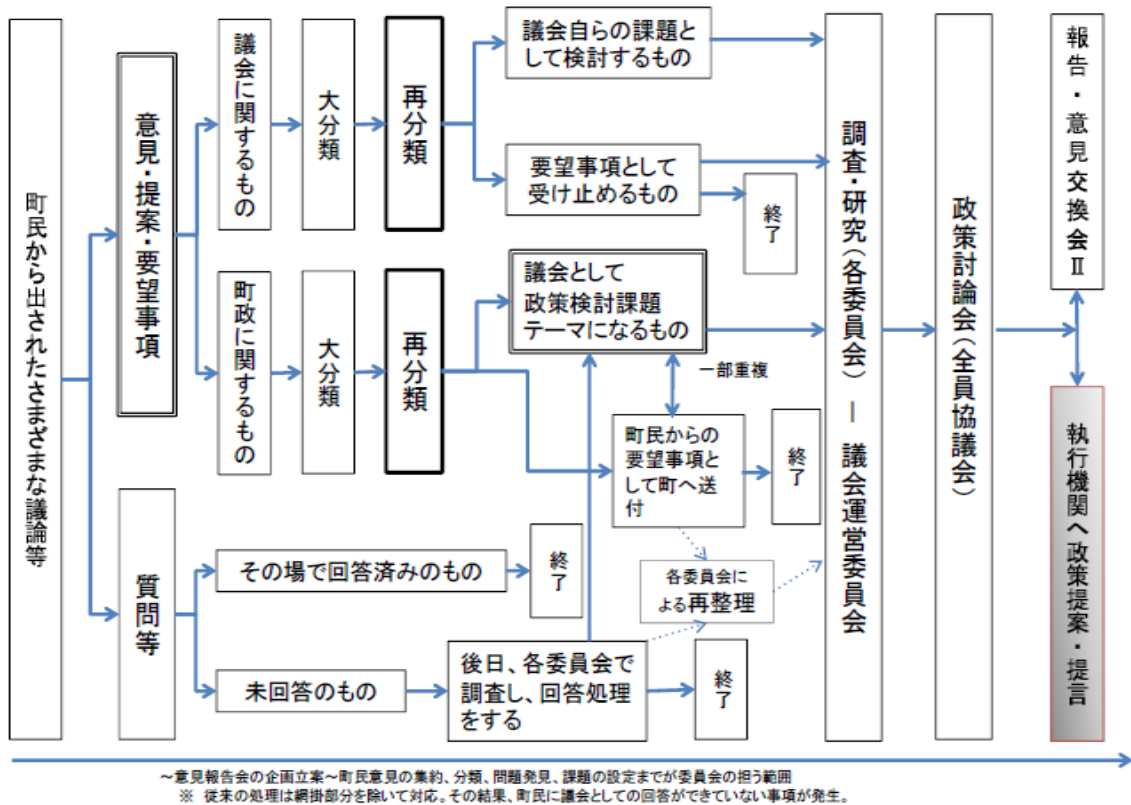
		意見交換内容
総務経済 常任委員 会 抽出事業	まちなか再生 事業	<p>(説明) 芽室町の地域担当制の現状、習志野市の地域担当制(まちづくり会議)、志木市の Park-PFI (いろは親水公園) などの説明。委員会として、第6期総合計画への視点と考えている。</p> <p>Q: 地域コミュニティづくりについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内会地区協議会に参加しているが、役員になる人は限られている。総会に出席したら、役員になる現状。 ・町内会に参加するという意欲の欠如、魅力が伝わる仕組みづくりが大切。 ・2020年に芽室へ移住。かつての賑わいを取り戻すとの説明があったが、かつての「賑わい」がわからない。 ・中高生が集える場所が必要。習志野市の「まちづくり会議」の様に色々な方々が参加し、協働のまちづくりを進めることが大切と思う。 ・様々な活動をしている芽室町と思うが、新たな店舗、空き店舗の活用による活性化策が重要。 ⇒志木市のまちなか再生(企業支援)、いろは親水公園、芽室町においても空き店舗について調査の段階、本町における Park-PFI について(公園からまちなか)等について説明。 <p>・まちづくりを考える時、周辺自治体の状況も考慮する必要がある。 (志木市の隣町は? 習志野市の隣町は?)</p>

		<ul style="list-style-type: none"> ・特色を生かしたまちづくりが重要。色々な方々の意見を聞く会議体の設置。 (特急が止まる町、農業の町など)
厚生文教常任委員会 抽出事業	公立芽室病院	<p>Q：公立芽室病院はどうあるべきか？診療体制、機能などについて。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションがはかれる場所であってほしい。 ⇒経営改革に取り組み、職員の意思疎通を図っている。 ・住民ニーズの把握が必要。 ・予防対策およびリハビリ機能の充実。 ・生活習慣病など年齢層に適したニーズ把握。 ・遠隔治療の推進。地域にとって必要な病院。 ・公立芽室病院があることも芽室へ移住した大きな条件だった。 ・気軽に受診できる病院。オンライン診療の充実。

※いただいたご意見は、取扱いフローに基づき、今後の各常任委員会での抽出事業及び「議員定数と報酬の見直し」において、調査・議論につなげていく。

(2) 意見取扱フロー

芽室町議会「議会報告と町民との意見交換会」の意見・提案・要望等の取り扱いフロー



(3) 議会モニターアンケート (出席者)

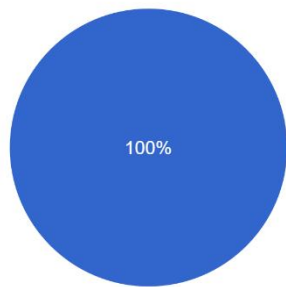
令和7年度 第2回議会モニター会議 アンケート結果

(議会モニター出席者 11名中：回答6名)

令和7年 11月 15日集計

1. 開催した日時や開催時間はいかがでしたか？

6件の回答

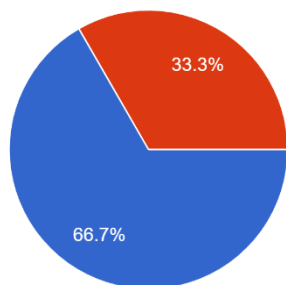


● 概ねよい
● 改善が必要

①概ねよい 6
②改善が必要 0

2. 当日の運営について（方法、内容、進行など）いかがでしたか？

6件の回答



● 概ねよい
● 改善が必要

①概ねよかった 4
②改善が必要 2

2で②と回答された方は具体的に記載願います。(3件の回答)

- ・限られた時間で、話し合う議題が多く、モニターの意見を十分に聞き取れていなかったのではないかと感じる部分があったため。
- ・オンライン参加でしたが、音声がかえりえない場面がありました。

3 各常任委員会での取組みについてご意見や感想、今後に期待することなどありましたらご自由に記載願います。

・たまたまではありますが、私の住んでいる地区では子供が多く、町内会活動も案外盛んです。先日食事会がありました。シニアの人数と子供の人数に大差なく、和気あいあいとレクをしたり会食したりできました。色々な偶然の要素もあるとは思いますが、1番は地域が子供達（ファミリー層）を大切にする。そうすれば、その親も我が子のために協

力的になる。結果シニア世代にも恩恵が来る。といった流れはいいな一思っています。あと、地域（町内会）の活動は極めてアナログ（回覧板やチラシは手交又はポスティング）、時代に合せていかないといけません。また、若者が町に集まるような仕組みをより強化したいですね。その意味では芽室高校の1間口減は残念で。十勝内でのパイの奪い合いにはなりますが、ファミリー層に魅力を感じてもらえれば（事実すでに魅力的なのですが。）より若年層の移住は促せると思います。町中の新規出店にもより手厚く、移住にもより手厚く。あと、南公園付近の公営住宅？の老朽化が気になります。かなり偏った考えかもしれませんが、駅前の空き店舗も含めて、寂れてる雰囲気って、本当によくありません。権利とか取り壊し費用とかあるとは思いますが。家を建てたい、仕事を始めたい。そういう人が円滑に芽室の土地でスタートできるようにできたらいいな一思っています。病院の件は知識がなく難しいですが、病院がなければ人口減は加速しますよね。やはり、緊急でも診てくれる病院がなければ、不安は大きいです。過去に、田舎に住んでいる親類が、適切な処置を受けていれば亡くならずに済んだのでは？と思うこともあったので。

・公立芽室病院について。この規模の自治体に公立の総合病院があることは、とてもいいと思いますが、現在の診療形態を考えると必ずしも公立でなくてもよいのではないかと思います。公共サービスという観点を考えて必要な側面もよく理解できますが、財政の面から考えると、率直に本当に必要な公共財なのかと思う部分もあります。確かに公立だからこそ、これだけ充実した医療機関があることは重々承知できます。しかし、赤字経営が続いている以上は、何らかの形で規模の縮小（診療科の削減など）を検討していかなければならないと思います。診療科の統合（総合診療科を核として、他科を廃止するなど）を考えたたり、公益財団法人や医療法人として、自治体から独立させた立場から医療を展開していくことによって、質の高い医療を展開できると考えます。これは、帯広に近い自治体だからこそできるのではないかと考えます。総合診療科・整形外科・訪問看護・リハビリテーション科など精選した形で運営していくことが、公立として安定した医療サービス提供によいのではないかと思います。まず最初の段階で地域から頼られる病院。そして長期的に医療を受けなければならない時の病院として存在してもらえたらありがたいです。

- ・視察の報告があり、他の自治体の事例を参考に協議していることがわかりました。
- ・住民のニーズを広く聞くこと、そのための手立てを考えること。
- ・自分の反省なのですが、事前にテーマについて、勉強や調べをもっとしておけばよかったです。せっかく多様な方々と議論できるので、質問も用意して参加したいと思いました。

3 議会で行っている「議員定数と報酬の見直し」について、議会原案に対するご意見や感想、今後期待することなどありましたらご自由に記載願います。

・原案に大賛成です。生活に必要な額の報酬は受け取るべきです。他に自営で収入がある以外は、議員の報酬で生活をしていかなければなりません。そのためには現状の報酬では

足りません。もちろん、税金を使うことになるのでそれ相応の覚悟が必要だと思いますが、そこを踏まえた上での引き上げだと思うので、私は大いに賛成します。

- ・報酬の引き上げは必要だと思います。生活が維持できない報酬では、立候補者の属性が偏ります。

- ・報酬を上げることで成り手が増えるかもしれない。一方でより一層の責任感や資質の向上が期待されるだろう。

- ・安易な考えになってもいけないことは承知ですが、人口比から考えると16人の議員は多いように思いました。帯広は人口が10倍近いですが29名ということも踏まえて。また、年間実働130日ではあるものの、月20万円とは驚きました。(安すぎて) よほど経済的にゆとりのある方でないと、議員はできないな—と思います。個人的な感覚では、子供のいる30代、40代だったら月30万でもかなり厳しいです。なので、総合的に判断すると、議員数を減らして10名程度、仕事量を増やして本業として取り組むことができるようにし、月40万円(議長も一律で)ほどがよいかと思います。

- ・本日の最後、今回の報酬見直し案に好意的とお伝えしましたが、帰宅後いろいろ考え、現時点では「原案に反対」とお伝えいたします。まず、今回の見直し案のおかげで「議会に期待する=議会をどう使えるのか?」を多くの人が考える機会になり、とても良かったと思います。ただ、その「費用対効果」をどうしても考えてしまいます。そこで期待する議会像や議員像を考えたとき、「議論の技術に長けた専門職的議員像」を私は描いたのですが、それは存在しないものだと思います。いたとしても、その人たちの議論はやや現実離れしているのではないのでしょうか。また、その人たちと役場職員と、何が違うのでしょうか。今の議員皆様の姿こそが、芽室らしい議員のありように感じます。他のモニターさんのいう「ボランティア的議員像」です。町中で働く人であり、現場を知っている人です。そんな人たちが話し合うからこそ、その結果に「納得感」が生まれるのだと思います。一方、物価高の中、据え置きで良いとは思えませんので多少の増は必要。同時に仕事量や議会の時間帯を見直し、議会活動のために休めるよう職場の理解を進めて、「兼業議員」を増やす方向性はいかがでしょうか。また成り手不足についてですが、皆さんの「弟子」「後継者」のような方はいないのでしょうか。「現場を知る議員」「多様な価値観が持ち寄られる議会」「政治的立場を互いに理解した上で、あらたなアイデアを生む議論をファシリテートできる議員」という姿を見たいです。今回の見直し案こそがそんな姿が実現すると私を納得させていただけのなら支持したいと思いますが、私はどちらかというと、今回の見直し案は、「政治を仕事にしたい人」を生み出しそうで心配です。「政治というツールを使って町を良くしたい人」こそが、必要だと思うからです。また、考えたいと思います。

(4) 議員アンケート（出席者）

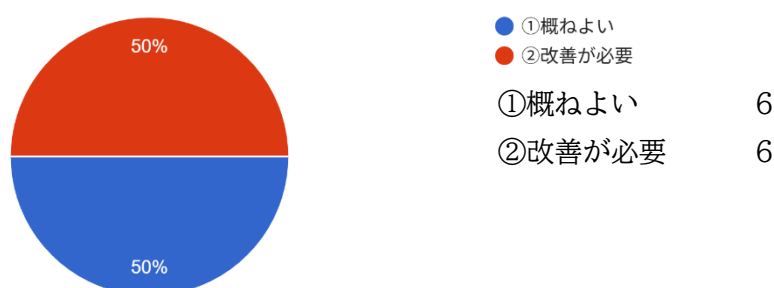
令和7年度 第1回議会モニター会議 アンケート結果

（議員15名中：回答12名）

令和7年11月15日集計

1. 当日の運営について（委員会説明、資料、方法、内容、進行、時間配分など）

12件の回答



1で②と回答された方は具体的に記載願います。

- ・ボリュームがあって定数と報酬についてもですが全体的に話が薄くなった感じがする。
- ・先日の議会モニター会議では、各常任委員会の報告をはじめ、議員定数や報酬など多岐にわたる内容が取り上げられ、盛りだくさんの会議となった。モニターの皆様にはそれぞれの項目について意見や感想を伺ったが、1時間半という限られた時間の中では、どのテーマも十分に議論を深めるまでには至らず、その場での感想や持論の紹介にとどまった印象である。
- ・1グループ1テーマに絞り込むなどした方がより深く意見聴取ができたと感じる。委員会報告も、限られた時間の中でどうしたら議会モニターに伝わるか、それぞれの委員会で資料や見せ方などもっと議論して臨んでも良いと思った。
- ・問題、題目等が多すぎたのでまとめが難しいかつた様な気がした。
- ・グループワークの人数が多すぎ、意見交換が十分にできなかった
- ・委員会からの説明に時間が要する。説明のあり方、テーマの設定等、グループワークがもう少し時間が取れば良いと思う。特にテーマが多いと満足出来る意見が出にくい。

2. 全体を通して何かありましたらご自由に記載願います。

- ・先進地視察報告を各委員会 5 分程度に要約するのは難しいです。皆さん頑張りました。
- ・2つの常任委員会の抽出事業に対する意見聴取ということで、少し時間不足でした。一つのグループはまちづくり、もう一つのグループは自治体病院について意見を頂いても良かったかなと思いました。素直な意見をいただき有意義でした。
- ・抽出事業が3つあることを配慮はしたがグループワークの時間配分を見誤ってしまった。以前実施したように3つのテーマをモニターに選んでもらい1つのテーマをじっくり深掘りする手法も有効だったかもしれない。
- ・今回の会議を通じて感じたのは、議会モニター会議の位置づけを明確にする必要があるということである。すなわち、「議会からの報告や説明を中心とする会」として運営するのか、それとも「特定のテーマを設定し、議論を深める場」として位置づけるのか、方向性をはっきりさせた方がよいと感じた。この点については、事前の全員協議会において今回の内容を共有していたが、実際に会議を開催してみて改めて課題として認識した。
- ・モニターのみなさんが議会・議員の使命や役割について十分に理解していないことが、特に定数報酬の意見の中では多く見られた。モニターの任期が始まる際に、議会・議員の使命と役割について伝える場面や資料があっても良いと考える（いま議会だよりに掲載している議会 navi をまとめたものを冊子にするなど）
- ・グループワークの時間が足りなかったように感じた。
- ・総務は、課題が 2 つあったが、1 つに絞り込んだ方が良かったかと思います。報告は良いとしても、グループワークの段階でどちらかに絞り込むとかしたほうが良かったかと思います。
- ・地域の交換会とは、若干の相違とか視点の違いが垣間見られて参考になった。
- ・報酬と定数について、聞いたところ A I 議員でも良いみたいな意見が出た時には、正直驚きました。
- ・私の G では移住者が多く、コミュニティの必要性、かつてはどうでもいい、町内会はいらない、街が古くイメージが悪いとか、前向きな議論にならなかった。でも参考になる意見もあった。
- ・議会側からの説明及びグループワークの実施方法等、限られた時間の中で有意義なモニター会議にするためにどうするか？協議が必要。

令和7年度第3回モニター会議の総括（案）について

- 1 日 時 令和8年2月18日（水曜）18時30分～20時
- 2 場 所 役場3階委員会室
- 3 手 法 参集／オンライン
- 4 出席者 モニター14名（うちオンライン1名）／議員15名
- 5 テーマ 4グループに分かれてグループワーク

①：「（仮称）議員の学校」について／②：議会モニター活動を振り返って

6 事業総括

（1）成果：概ね達成

現在、議会では取組もうとしている「（仮称）議員の学校」について、資料に基づき説明をし、その後4グループに分かれて議論テーマに沿ってグループワークを実施した。議会モニターのみなさんが対話しやすい場とするために、グループ人数、レイアウト等に工夫をこらし、参加者からの意見・要望・提言を広く聴取することにつながった。

今回のテーマにおいては、町民のニーズにマッチしているか、取組みについて過不足はないか、課題解決に寄与しているか等について意見交換した。議会について、関心や理解をお持ちの議会モニターから、客観的な視点・町民の視点でどのような改善が必要かについてご意見をいただくことによって、今後の取組みにつながるものと考えている。

また、議会モニター活動について、1年を振り返ってそれぞれからの思いや考えを共有する機会につながったと考える。なお、議会活動についての「外部評価」として位置付ける。

（2）課 題

- ① いただいた意見を改めて整理し、今後の取組みに活用する。
- ② 毎回アンケート回答数が減少しているため、改善が必要。
- ③ 欠席された議会モニターからの意見聴取について検討が必要。

7 その他

- ・グループごとの記録
- ・意見取扱フロー
- ・議会モニターアンケート（出欠別）
- ・議員アンケート

<グループごとのまとめ>

Aグループ

■参加者 : 櫻井さん、平岡さん、深井さん、保志さん

■出席議員 : 中村議員、伊藤議員、橋本議員

テーマ	意見交換内容
議員の学校について	<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育の延長、身近な仲間が出ていくイメージ（例えばサークル） ・報酬についても興味がある。決められた金額内での活動。議会って身近に感じられると思う。 ・どのように広報、周知をするのか。 ・会議録等を見るのも参考になる。面白い。 ・6時間という時間だが選挙運動等のことも知りたい。 ・参考になると思う。 ・基礎編もあれば実践編等、選択肢があればよい。 ・議員の質疑に対して、なぜ質疑をしたのか聴いてみたい。
議会モニター活動を振り返って	<ul style="list-style-type: none"> ・やってみて損はなかった。貴重な時間だった。 ・有機栽培を提案したい。 ・自由な発想で発言できることがよい。 ・町、議会の話ができる。楽しかった。良い経験になった。

Bグループ

■参加者 : 甲斐さん、小林さん、山路さん、山本さん

■出席議員 : 堀切議員、正村議員、西尾議員

テーマ	意見交換内容
議員の学校について	<ul style="list-style-type: none"> ・周知の方法について、町広報誌、ホームページ、直接議員からのおさそい。町民だけでなく、町外の方も参加できたらよい（高校生とか） →全6回、昼と夜開催、定員15名、18歳以上の方なら参加できることを説明 ・知りたいことはどんなこと？ 供託金はいくらなのか。 選挙期間中の過ごし方（事務所のこと、演説の場所、お金、人をどう集めるのか） 理念とか知識も大事だが、具体的な活動内容を知りたい。 本音で話すことで講座は充実するかも。 議員の1日の過ごし方（グラフとかで見える化するとわかりやすいかも） ・タイトルを変えた方がよい。「なり手向け」がはっきりわかる
議会モニター活動を振り返って	<ul style="list-style-type: none"> ・傍聴して初めて議会、議員の活動がわかった。もっと多くの方に傍聴してほしい。 ・「議会は座っているだけ」と思われているのがもったいない（実際は議論しているのに）。 ・モニターに求めるもの「傍聴しなければならない」と思っていたがそうではなかった。 ・やってみて負担はなかった。もっと気楽になってくれてもよいと思う。 ・議会モニターはいろいろな意見を聞くことができ視野が広がった。 ・町民へのPRの仕方を工夫して議会モニターになってくれる町民が増えたらよい。

Cグループ

■参加者：尾藤さん、山吹さん、横山さん（3名）

■出席議員：立川議員、小笠原議員、常通議員（3名）

テーマ	意見交換内容
議員の学校について	<ul style="list-style-type: none"> ・名称については「議員の学校」がダイレクトでよい。目的が明確になる。 ・カリキュラムや内容についてはモニターから提案するのは難しい。 ・周知について、facebookは双方向ができていない。 ・なり手不足対策として良い考え。そもそもなぜなり手不足なのか。議員に対するわくわく感が少ない。 ・議会の役割をしっかりと発揮できる組織に変わる。 ・町の課題にしっかり踏み込める議会の役割を果たす（学校の統合など） ・自分に置き換えても議員になれるかというとすぐに返答できない。 ・議会活動のA I活用。芽室町の未来を見据えた議論ができる議会へ。
議会モニター活動を振り返って	<ul style="list-style-type: none"> ・議員への偏見があった。議員ってどんな人なんだろうという疑問があったが、今は議員が身近に思えるようになった。（モニター会議を通じて） ・モニター同士が話し合える場があると良い。 ・今年度は傍聴にいけていないが、2回目のモニター会議で常任委員会の取組みについて話し合う場が参加しがいがあった。

Dグループ

■参加者：野澤さん、福中さん、類家さん

■出席議員：菊池議員、早苗議員

テーマ	意見交換内容
議員の学校について	<ul style="list-style-type: none"> ・議会の基本的なことがわかるように。 ・多様な「なり手」特に女性にフォーカスしてほしい。例えば「女子校」的な！ ・議員の方とカフェ的な場に参加したことがある。気楽に話せた。 ・中等部や高等部的な学校もありではないか。 ・イメージとしてはやはりカタイイメージがある。くだけた形式が良い（小学生でもわかるような表現） ・名称をつけるも難しい。 ・今回の提案は高尚すぎる感じがする。 ・名称は「議員養成講座」のように直球が良い。 ・まとめとしては、町民目線でわかりやすく、間口を広くしてほしい。興味ある人への後押しになるように。
議会モニター活動を振り返って	<ul style="list-style-type: none"> ・意見の回答は毎回フィードバックしてほしい。 ・意見を言いやすくするのに事前資料は2週間前までにほしい。 ・高校生が参加できるのはよいこと。 ・モニターの魅力は何か。議員に会えて話ができること。モニターの立場だと政治に話がしやすい。モニターの意見が形になるとわかりやすい。 ・今後に向けて年間テーマとフリートークの組み合わせ。

※いただいたご意見は、取扱いフローに基づき、今後の「議員の学校」の開催及び「モニター制度のあり方」に向けて、十分に参考にさせていただきます。

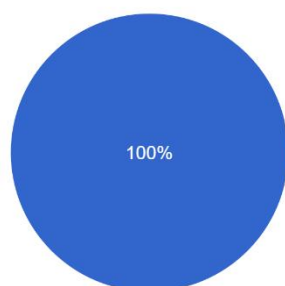
令和7年度 第3回議会モニター会議 アンケート結果

(議会モニター出席者14名中：回答7名)

令和8年3月1月10日集計

1. 開催した日時や開催時間はいかがでしたか？

7件の回答

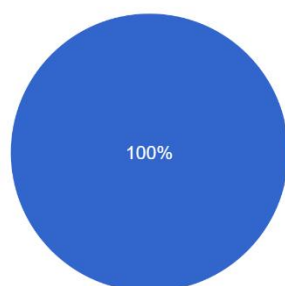


● ① 概ねよい
● ② 改善が必要

①概ねよい	7
②改善が必要	0

2. 当日の運営について（方法、内容、進行など）いかがでしたか？

7件の回答



● ① 概ねよかった
● ② 改善が必要

①概ねよかった	7
②改善が必要	0

3. 議会で取組んでいることに関して、ご感想やご意見をご自由に記載願います。

(3件の回答)

- ・自分の選挙公約を思い出し達成率を考え活動している方はいないのではないかと！
- ・議員の学校は良いと感じた。
- ・特にありません

4. 今年度、議会モニターを経験されて感じたこと、ご感想やご意見をご自由に記載願います。(5件の回答)

- ・今年度はあまり参加できませんでしたが、毎回楽しく参加させていただき感謝します。貴重な経験なので来年度以降も継続していただき、みんなでいい芽室町を作っていけたらと思います。
- ・以前参加したときよりも、とても話しやすく、議員の方やモニターの方の考えを知ること

とができたと感じました。小グループだったこと、それぞれの場所への移動のちょっとした時間が打ち解けるきっかけとなっていたこと、そして議員の方がご自身の考えも話す場面もあったことが良かったのだと思います。議会モニターは総合計画審議会や〇〇委員会のようなものと異なり、自由に意見交流できる場だと思っています。その良さを周りの人に伝えて参加をオススメしていきたいと思っています。

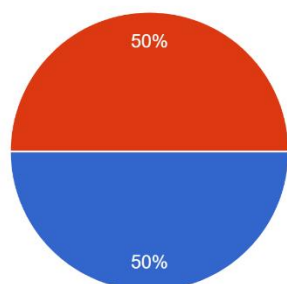
・行政の経営とか、いかに発展性のある産業育成に投資をしていくかなど興味がある方が少なく感じます また自分の支持者の意見が町民の大多数の意見であると信じ、町政も予算の割り振りには興味あるが、稼ぎ出すことには意識をしていないように感じます

・色々な職種・年代の方と町の在り方についてお話ができてよかったです。

・身近な存在に感じることでできて良い機会になりました

5. 次年度の議会モニターについて

6件の回答



- ① 継続を考えている
- ② 継続は考えていない

①継続を考えている 3

②継続を考えていない 3

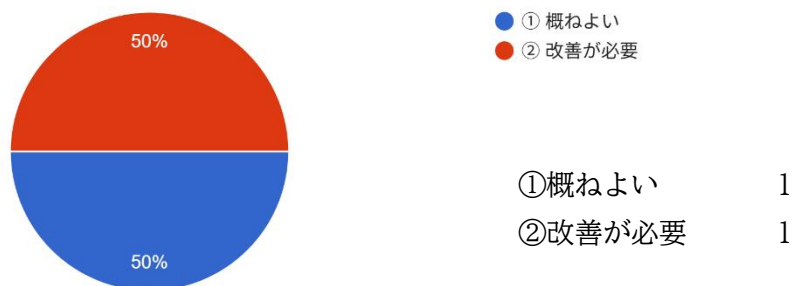
令和7年度 第3回議会モニター会議 アンケート結果

(欠席したモニター6名中：回答2名)

令和8年3月10日集計

1. 議員との意見交換会を開催した日時や開催時間はいかがでしたか？

2件の回答

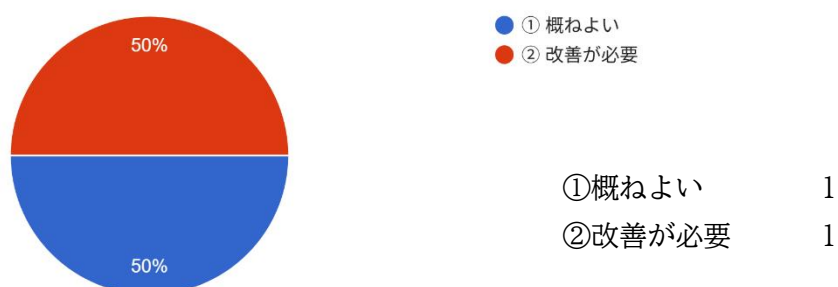


1で②と回答された方は具体的に記載願います。(1件の回答)

・妻が町に関する役を他にやっており、2回も被りしてしまい参加できませんでした。不慮の事故的な感じなので、改善が必要、とまでは思わないのですが、今年は参加が1度ですいません。

2. 運営について（方法、内容、進行など）いかがでしたか？

2件の回答



2で②と回答された方は具体的に記載願います。(1件の回答)

・意見を伝えたところで否定的な回答になりがちだったので、「意味あるの？」って思っていました。町内会か何かの話になったときに、「情報伝達」「会議の方法」の話をしたような記憶があるのですが、「世代が変わらないと」「もう少し時間が経たないと」という回答が何度も返ってきました。それはわかってる前提で意見を出したのですが、「じゃあどうすればそれができるか考えてみよう」ってならない限り、「やっぱり言っても意味ないよね」となり若い世代は離れていく一方だろうなと思いました。

3. 議会で取組んでいることに関して、ご感想やご意見をご自由に記載願います。(1件の回答)

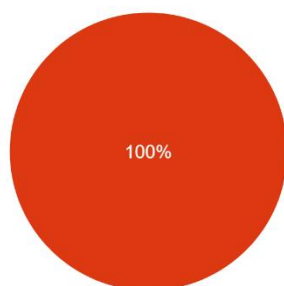
・普段、町の施策に近い部分の事業や町の事業を委託で受けたりと、かなり取組んでいる方だと思いますが、議員さんから意見を聞かせて欲しいという話は1-2名で固定の方ばかりです。まちなか再生や子育てに関する取り組みは、町の中でもかなり積極的に行っている方だと思いますが、モニターのようなことをしなくとも意見交換すべき若い世代はいると思うので、もっと普段の時間の中で、意見を交換する時間を意識した方が良いかと思います。もちろん、議会モニターは形、程として必要かと思えますし、なかなか議員さんと触れ合う機会がない方もいらっしゃいますし必要だと思えます。

4. 今年度、議会モニターを経験されて感じたこと、ご感想やご意見をご自由に記載願います。(2件の回答)

・本当にいい時間にするのであれば、事前にもっとモニターもインプットや勉強してから参加しないと深まる議論にはならないだろうと正直思いました。普段から町の施策に触れている人ばかりではないので。だからと言って事前に読み込んでくださいというのも難しい。場を設けるだけでもキッカケになるので必要なのは必要。難しいですね。ライトな議会モニター（移住者や高校生）とディープな議会モニター（町の事業を実際にやっている人）と2通りやってみてもいいかもしれません。（後者はかなりめんどくさいと思いますが…）

・一度しか出席できず申し訳ありませんでした。次年度は継続することは難しいと思われませんが、お力になれることがあればお申し付けください。今後ともよろしく願っています。

5. 次年度の議会モニターについて 2件の回答



- ① 継続を考えている
- ② 継続は考えていない

①継続を考えている 0
②継続を考えていない 2

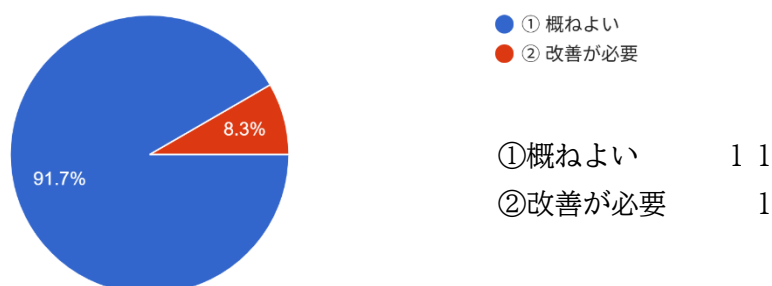
令和7年度 第3回議会モニター会議 アンケート結果

(議員 15 名中：回答 12 名)

令和8年3月10日集計

1. 当日の運営について（委員会説明、資料、方法、内容、進行、時間配分など）

12 件の回答



1で②と回答された方は具体的に記載願います。（1件の回答）

・「議員の学校」と言う初めての取り組みがテーマだったため、グループワークの進行は苦戦されていた。本番に向けた、開催の目的、進め方の確認、共有が必要だったと感じた。

2. 全体を通して何かありましたらご自由に記載願います。（8件の回答）

・グループワークの中で会議に向けて予習をしたいのご意見があった。運営は大変になるが早い段階で事前に資料配布できるとより充実した会議になると思う。

・「議員の学校」については、社会教育的な側面があるとの意見、基礎的な授業から始めるのが重要、会議録を見て議会の議論が理解できたなど多くの意見があり、今後の参考にしたい。モニターを経験しての振り返りについては、貴重な時間であったとお話頂きました。

・モニターから頂いた、モニター制度の総括を次年度に繋げたい。

・特に絶対と言いませんが、もう30分くらい長くても良いと思います。全体的に忙しく感じたので第2回のようにボリュームがあると話題が深まらないので一度には今回のようなモニターさんの話と町又は議会の話が良い。

・モニターの皆さんからはもっと自由にモニター同士が話し合える場が欲しいという声が聞かれますが年3回程度と開催日数も限られていたりまた開催要綱の目的にあるように意見を政策に反映させるとなれば単なるフリートークだけで終わらせることもできません。その年ごとに議会が抱える課題によっては住民意見聴取のためのテーマ設定をせざるを得ない場合もあります。そうした場合にも参加のしがいを得てもらえるように話し合いの進

行手法をより良くするための工夫がさらに必要だと実感しています。またその場のテーマを逸脱するようなご発言があった場合（テーマ設定への異論やそもそも論を唱えられるなど）発言者に納得してもらい話し合いを本筋に戻したらよいかなど、大きな声に流されない話し合いの進行スキルも重要だと考えます。

- ・定数の件・報酬の件は、多数回に渡り町民と話し合ったと思うのですが再度広報とか伝達法を駆使して理解を深める広げる必要もありかなと思った。

- ・テーマに沿わない意見ばかりをおっしゃる場合にはどう対応したらよいか。限られた時間の中で幅広く意見聴取できるようになると良い。

芽室町議会モニター設置規程

令和4年11月22日議会告示第1号

(目的)

第1条 この規程は、芽室町議会モニター（以下「議会モニター」という。）を設置することにより、町民からの要望、提言、その他の意見を広く聴取し、芽室町議会（以下「議会」という。）の改革・活性化の推進及び政策提案機能を強化することを目的とする。

(定義)

第2条 この規程において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- (1) 町民等 めむろまちづくり参加条例（平成16年条例第2号）第2条第2号に規定する町民等をいう。
- (2) 会議 議会の本会議、常任委員会、特別委員会及び議会議長（以下「議長」という。）の下に設置する組織等をいう。

(定員)

第3条 議会モニターの定員は、20人以内とする。ただし、議長が必要と認めるときは増員することができる。

(資格)

第4条 議会モニターは、次の各号に定める要件を満たす者とする。

- (1) 町民等であること。ただし、芽室町職員、議員及び各種行政委員は除く。
- (2) 議会のしくみ及び運営に関心があること。
- (3) 町政及び地域社会の発展に関心があること。

(募集方法等)

第5条 議会モニターは公募とする。ただし、議長は適当と認めた団体等に対し、適任者の推薦を依頼することができる。

(委嘱)

第6条 議会モニターは、前条の公募者及び推薦者のうちから議長が委嘱する。
2 議長は、前項の規定による議会モニターの委嘱に当たっては、議会モニターの年齢・居住地等に著しい偏りが生じないように配慮しなければならない。

(解任)

第7条 議会モニターが次の各号のいずれかに該当するときは、議長は当該議会モニターを解任できるものとする。

- (1) 第4条に規定する資格を失ったとき。

(2) 議会モニターから辞任の申出があったとき。

(3) その他議長が必要と認めたとき。

(任期)

第8条 議会モニターの任期は1年とし、再任を妨げない。

(報酬等)

第9条 議会モニターが議会主催の意見交換会に参加した際は、報酬及び費用弁償を支給する。

(職務)

第10条 議会モニターは、次の各号に定める職務を行うものとする。

(1) 会議（非公開で行われるものを除く。）を傍聴し、当該会議の運営に関する意見を文書（電子メールを含む。以下この条において同じ。）により提出すること。

(2) 「芽室町議会だより」及び「芽室町議会ホームページ」などに関する意見を文書により提出すること。

(3) 議会の政策提案に関すること。

(4) 議長が依頼した議会の運営に関する調査事項に回答すること。

(5) 議会議員と1年に2回以上、意見交換を行うこと。

(6) その他議長が必要と認めたこと。

(提言等の取扱い)

第11条 議会モニターから提言等が提出されたときは、議長は必要に応じ関係する会議に当該提言等を送付し、当該会議において検討させるものとする。

2 前項の規定による検討結果は、原則として当該提言等を提出した議会モニターに通知するとともに、議長が別に定める方法により公表するものとする。

(委任)

第12条 この規程に定めるもののほか、必要な事項は議長が別に定める。

附 則

この規程は、令和4年11月22日から施行する。

歴代議会モ二夕一名簿（敬称略）

H24	明瀬健太郎、蘆田千秋、犬飼健二、猪野毛勝啓、大貫正光、児玉 渉、小森瑞恵、佐藤正行、竹内仁美、森浦英樹
H25	江崎 満、川合拓男、黒田卓裕、駒沢建治、小山智幸、鈴木久恵、鈴木哲也、土井久美子、馬場 繁、細野浩伸
H26	川瀬幸枝、下保孝志、川合卓男（再）、黒田卓裕（再）、駒澤建治（再）、小山智幸（再）、鈴木久恵（再）、中田智恵子、古田 聡、宮間教年
H27	大宮久美子、奥村紀之、下保孝志（再）、寺町智彦、中田智恵子（再）、西川幹生、畑中庸助、古田 聡（再）、武藤健護、宮間教年（再）
H28	市橋 明、井原有二、奥村紀之（再）、川野陽美、佐々木玄德、高桑衣佳、寺町智彦（再）、鳥本和宏、中捨智也、中田智恵子（再）、西川幹生（再）、西村有里、畑中庸助（再）、平岡早苗、廣田由美、堀井和宏、武藤健護（再）、山川昌則、山本雅代
H29	井原有二（再）、川野陽美（再）、佐々木玄德（再）、高桑衣佳（再）、鳥本和宏（再）、中捨智也（再）、廣田由美（再）、堀井和宏（再）、山川昌則（再）、長谷川修、武藤雅紘、岩佐幸治、堀切佳寿子、高道 豊、加藤順子、藤村八重子、小林覚、松岡みちよ、木村真之、小森豊弘
H30	長谷川修（再）、武藤雅紘（再）、岩佐幸治（再）、堀切佳寿子（再）、高道 豊（再）、加藤順子（再）、藤村八重子（再）、小林 覚（再）、松岡みちよ（再）、木村真之（再）、小森豊弘（再）、坂田恵子、畠山大輔、土井慎悟、珠玖謙一、小森真弓、渡邊しのぶ、千田美喜子、池戸朋弘、藤井信二
R 1	畠山大輔（再）、土井慎悟（再）、珠玖謙一（再）、渡邊しのぶ（再）、池戸朋弘（再）、藤井信二（再）、嶋野丈治、島部弘子、石田幸治、福田清貴、篠原淳一、雨山理恵、太田 貢、長崎義和、鈴木美幸、中田照子、渡辺洋志、大谷留美子、鈴木 賢
R 2	秋葉秀明、雨山理恵（再）、石田幸治（再）、池戸朋弘（再）、太田 貢（再）、佐藤渉、篠原淳一、島部弘子（再）、珠玖謙一（再）、鈴木 賢（再）、鈴木美幸（再）、土井慎悟（再）、中田照子（再）、畠山大輔（再）、福田清貴（再）、藤井信二（再）、渡邊しのぶ（再）、渡辺洋志（再）
R 3	秋葉秀明（再）、粟野秀明、飯島裕治、伊藤裕哉、大塚玲奈、小川美穂、榊 聖、沢崎洋一、高田昌樹、中西香代子、新妻功晟、広瀬一也、深井 潤、福田清貴（再）、福中夏生、堀江貴博、松田桃子
R 4	秋葉秀明（再）、粟野秀明（再）、大塚玲奈（再）、小川美穂（再）、沢崎洋一（再）、高田昌樹（再）、広瀬一也（再）、深井 潤（再）、福田清貴（再）、福中夏生（再）、堀江貴博（再）、松田桃子（再）
R 5	大塚玲奈（再）、大野翔舞、北橋美桜、木村勝博、黒瀬 航、小林優斗、坂本 篤、早苗雅晃、高田昌樹（再）、高橋圭輔、塚田洋人、深井 潤（再）、福中夏生（再）、保志元輝、山本美千子、山本睦人、横山泰平
R 6	新居英樹、甲斐由美子、大塚玲奈（再）、北橋美桜（再）、木村勝博（再）、小林優斗（再）、坂本 篤（再）、早苗雅晃（再）、高橋圭輔（再）、立花大希、塚田洋人（再）、野澤一盛、平岡早苗、深井 潤（再）、福中夏生（再）、保志元輝（再）、三上ますみ、山本睦人（再）、横山泰平（再）、芳野都馬
R 7	甲斐由美子（再）、工藤祐哉、小林優斗、櫻井 守、高野竜二、立花大希（再）、野澤一盛（再）、尾藤光一、平岡早苗（再）、深井 潤（再）、福中夏生（再）、保志元輝（再）、三上ますみ（再）、山路 康、山吹しずえ、山本采里、山本睦人（再）、横山泰平（再）、吉田和樹、類家裕介
計	計214人（実人数109人）



北海道芽室町議会

082-8651

北海道河西郡芽室町東2条2丁目14番地

<http://www.memuro.net/gikai/gikai.htm>

e-mail g-shomu@memuro.net

tel 0155-62-9731 fax0155-62-9813